志學館大学授業評価アンケート実施要領

（目　的）

第１　学生による授業評価アンケートは、個々の授業科目の内容及び方法について学生の意見を聴き、その改善を図ることで、志學館大学の教育の質の保証及び継続的な改善に資することを目的として実施する。

（所掌組織）

第２　授業評価アンケート（以下、アンケートという。）の企画、立案及び実施は、学務委員会（以下、委員会という。）が所掌する。

２　委員会は、前項の業務にあたり、情報基盤センター及びＩＲ室の協力を得ることができる。

（対象とする授業科目）

第３　学士課程及び大学院課程の全科目をアンケートの対象とする。ただし、通常の授業科目と実施形態、開講期などが異なる、以下の各号に掲げる科目は除外する。

(1)　実技科目

(2)　ゼミ科目（卒業研究、卒業論文、専門演習）

(3)　学外実習を伴う科目

(4)　受講登録者数が５名以下の科目

(5)　放送大学科目

（質問項目）

第４　質問項目は、別に定める。

（アンケート手順）

第５　アンケートは以下の各項に掲げる手順に従って実施する。

２　委員会は、各学期末の適当な２週間をアンケート実施期間として決定し、すべての授業担当教員に周知する。

３　各授業担当教員は、各期の第１４週目又は第１５週目の授業中に、当該授業を受講している学生に対してアンケート実施期間を周知するとともに、期間中の回答を促すものとする。この場合、各授業担当教員は、本学ポータルサイトＵＮＩＰＡ上でアンケートに回答するよう学生を指導する。

４　委員会は、以下の各号に掲げる事項を学生が十分に理解するよう、適切な措置をとるものとする。

(1) アンケートの回答後、科目名の左のアイコンが「回答済」になれば、回答完了であること。

(2) 回答は、定期試験の前日までに完了しなければならないこと。

(3) スマートフォン等で回答した場合、パケット通信（パケット定額制加入者は定額制の対象）が発生すること。

(4) 誰がどのように回答したかが開示されることはなく、また収集された情報は第１に定める目的以外に利用されることはないこと。

（アンケートの集計と結果の通知）

第６　回答内容はシステム上で自動集計され，アンケート実施期間終了後，各授業担当者はＵＮＩＰＡ上で以下の集計結果を参照できる。

(1)　授業識別情報　授業科目名、時間割番号、開講曜日及び時限、回答者数及び受講者数、回答率、担当教員名

(2)　別に定める質問項目ごとの回答度数分布（数値化できない場合を除く）

(3)　自由記述欄

（アンケートの結果のフィードバック）

第７ 授業担当教員は、前条の個票に従い、所定のフィードバックコメント票を用いて、以下の各号に掲げる事項について記入しなければならない。

(1)　アンケート結果を踏まえたコメント

(2)　アンケート結果を踏まえた改善策

２　授業担当教員は、アンケートを実施した次年度の当該学期の終了後に、以下の各号に掲げる事項について記入しなければならない。

(1)　改善策の達成度の振り返り（「とても改善できた」（５）から「全く改善できなかった」（１）の５段階の数字で記入）

(2)　改善策の達成度の振り返りコメント

３　授業担当教員は、前２項に定めた事項を含むフィードバックコメント票を電子的に保管しなければならない。

４　委員会は、第１に定める目的のために必要な場合は、前項のフィードバック票の提出を求めることができる、

５　前４項にかかわらず、授業担当教員が非常勤教員である場合については、別に定める。

（事　務）

第８　委員会は、アンケートに関する事務連絡等を学務課に委嘱することができる。

（雑　則）

第９　この要領に定めるもののほか、アンケートに関し必要な事項は、委員会において別に定めることができる。

附　則

この要領は、平成２９年９月１３日から施行し、平成２５年４月１日から適用する。

附　則

１　この要領は、平成３０年９月２６日から施行し、平成２５年４月１日から適用する。

２　平成２９年度以前に入学した心理臨床学科の学生に対する授業の場合、第３第２号の「卒業研究」は「特殊研究」と読み替える。

附　則

この要領は、令和３年９月２９日から施行する。

附　則

この要領は、令和４年１月２６日から施行し、令和４年１月１７日から適用する。

付表　（第４関係）

質問項目	評価区分
1　学生識別情報	
(1)　学籍番号	
(2)　性別：　男性、女性	
(3)　所属学部、学科	
2　すべての科目に関する設問	
(1)　授業の分量は適切であった	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(2)　授業の進み具合は適切であった	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(3)　教員の教え方は分かりやかった	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(4)　テキスト、プリント、板書、提示資料等は理解の助けになった	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(5)　毎回の授業のねらいははっきりしていた	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(6)　授業は講義要項（シラバス）に沿った内容であった	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(7)　授業には、新しい知識の獲得や発見に、学生を導くような工夫や仕組み、働きかけがあった	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(8)　質問や意見を述べる時間が設定されていた	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(9)　予習、復習の課題やアドバイスは適切に与えられた	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(10)　この科目の予習に毎週当てた平均時間	1.していない、2. 30分程度、3. 60分程度、4. 90分程度、5.それ以上
(11)　この科目の復習に毎週当てた平均時間	1.していない、2. 30分程度、3. 60分程度、4. 90分程度、5.それ以上
(12)　授業時間内に、この科目を熱心に学習した	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(13)　授業時間外に、この科目を熱心に学習した	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(14)　積極的な参加（自ら考えながらの受講）が求められる授業だった	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(15)　この科目に対するあなた自身の取り組み姿勢を総合的に評価してください	10(高)～1(低)
(16)　この科目の「到達目標」（シラバスに記載）に達することができたと思いますか	5.強くそう思う～1.まったく思わない
(17)　自由記述欄	指示文：※授業内容や方法で、特によかった

	点、工夫が感じられた点があれば書いてください。また、「もう少しこうすればもっと良い授業になる」等の建設的な意見があれば書いてください。 ※本学では、授業評価アンケートを学生と教員の間のコミュニケーションの一つと考えています。単なる批判ではなく、授業改善のために役立つ意見を書いてください。
3　演習が行われた科目のみに関する設問	
(1)　質疑応答などが活発におこなわれた	5. 強くそう思う～1. まったく思わない
(2)　するべきことが明瞭であった	5. 強くそう思う～1. まったく思わない
4　共通教育科目のみに関する設問	
(1)　課された読書課題は教養を高めるのにプラスになった	5. 強くそう思う～1. まったく思わない